

今、しておくべきこと

～明日起こるかもしれない災害に備えて～



災害が起きる前に、情報収集のご準備を

災害時は様々な手段で情報が発信されます。

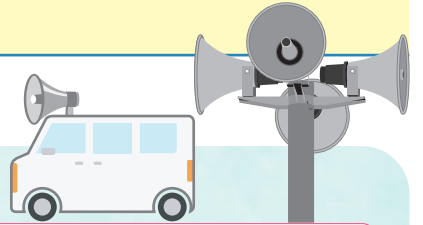


テレビ・ラジオ



ポイント

防災スピーカー・広報車



室内では防災スピーカーの音声が聞こえない場合があるため、同じ内容を広報車が区内を巡回して放送します。また、防災行政無線テレホンサービス(06-6210-3899)に電話すると、放送内容が確認できます。

大正区公式SNS

警報の発表、渡船の運航中止、防潮鉄扉の閉鎖、橋の通行止めなど、様々な緊急情報を発信します。予め登録しておき、災害時にご自身で情報を収集できるようご準備をお願いします。



HP
(ホームページ)



Twitter
(ツイッター)



LINE
(ライン)



Facebook
(フェイスブック)



想像してください、もし今、災害が起こったら

地震

- 家具の転倒
- 家屋倒壊
- 大規模火災



津波

- 速くて力が大きい波の襲来



風水害

- 大雨による内水氾濫
- 高潮による浸水
- 停電や断水



住まいの安全対策は万全ですか？

- 大阪市では耐震診断・耐震改修に要する費用の一部を補助しています

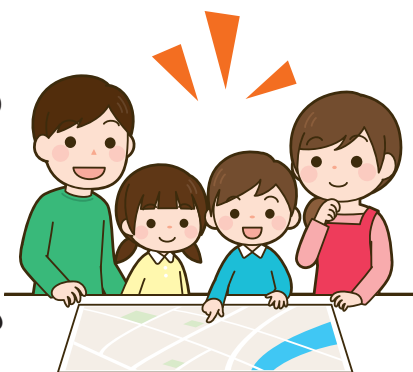


- 家具の転倒防止器具などで、家具の転倒、落下を防いでおきましょう。



発生する災害によって避難行動が異なります。

- 『大正区防災マップ(P.8)』や『水害ハザードマップ』などを確認して、避難経路や避難時での危険個所がないかどうかを確認しておきましょう。



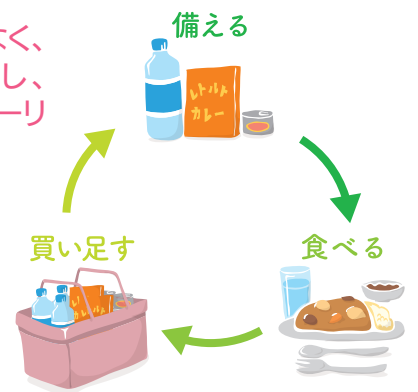
- 家族間の安否確認の方法や、集合場所などを決めておくことも大切です。

備蓄物資を確認しておきましょう。

食料・日用品を事前に用意しておき、救援物資が届くまで1週間程度自足するつもりで備えましょう。

ポイント

非常食を大量に蓄えておくのではなく、普段の買い物で少し多めに購入し、使った分をまた買い足すという「ローリングストック」が提唱されています。この方法なら、消費期限や使用期限が過ぎてしまうことが少なく、安定的に備蓄できます。感染症対策のため、マスク・消毒用アルコール・体温計も非常時持ち出し品に追加しておきましょう。



自分一人の力では避難することが難しい方へ。

各地域において見守りを希望された方に対して、「要援護者名簿」を基に「日ごろの見守り」と「災害時の避難支援」を一体的に行う取組みを進めています。

